

## JALとして初めて、羽田空港に 電動トーイングトラクターを導入します

2022年3月23日

JALでは2021-2025年度JALグループ中期経営計画(\*1)において掲げた、2050年のCO2排出量実質ゼロに向けてまとめたロードマップに基づき、さまざまなCO2排出量削減の取り組みを実施しています。その取り組みの一環として、空港制限区域内で使用する特殊車両からのCO2排出量削減の為、株式会社豊田自動織機製の新型電動トーイングトラクター(\*2)を、2022年2月にJALとして初めて発注しました。

本車両は2022年7月以降に東京国際空港に2台納品される予定で、本車両の使用により、既存のエンジン式トーイングトラクターと比較し、1年間で1台当たり約6トンのCO2排出量削減効果があると試算しています。

今後も車両の電動化などの空港車両のCO2排出量削減に向けた取り組みを推進し、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

(\*1)2021年5月7日付プレスリリース第21012号『2021-2025年度JALグループ中期経営計画を策定』

参照 URL: <https://www.jal.com/ja/outline/plan.html>

(\*2)空港制限区域内にて航空貨物やお客さまの手荷物の運送用コンテナを牽引する車両

### 【車両概要】

- ・ 型式名 : 3TE25
- ・ 製造元 : 株式会社 豊田自動織機
- ・ 発注台数 : 2台
- ・ 配備空港 : 東京国際空港
- ・ 配備時期 : 2022年7月以降



※写真はイメージです

以上

